

あんガイドマップ — Guide Map —

コンセプト

- 🏠 家庭的な雰囲気「事業所」ではなく、少し使いやすい「家」
- 🏠 「施設的なケアの空間」ではなく、「普段の暮らしの住空間」
- 🏠 「御本人の住居」ではなく、「通う場所」
- 🏠 理解・認識がし辛くなっている方も、何か手がかりを見つけて、自分の力を使いながら暮らしていける空間（自宅とかけ離れていない環境）

●扉

居室・トイレ・お風呂場等の扉のデザインは、扉の向こう側に何かあるのかをイメージし易いように、明り取りの形状、色の変化をつけています。



●手すり

手すりの端に服の袖口が引っかからない形状のものを採用しています。



●畳の居室

畳の部屋で寝たい方のために、和の居室をご用意しました。二部屋の仕切りが襖なので、開放してご夫婦やお友達同士で一緒に過ごしていただけます。



●上り框（あがりかまち）

土間と床の段差をあえて付けることで上下の境界をはっきりと認識できるようにしています。上り框は、足を運ぶ時にご利用者が上げられる高さとして8cmにしました。



●プライバシー

来客者から室内が丸見えにならない設計です。

●ソファ

座った時に、お尻が落ち込まず、立ち上がりもスムーズに行えるものを使用しています。

●換気扇

寒い日の喫煙スペースとして設置しています。



●宿泊時の利用

宿泊の時に前回と同じ部屋を利用できるとは限りませんが、環境の変化による不安や違和感を軽減できるように、各居室の照明、カーテン、壁紙は同じにしています。



●居場所

人によって落ち着ける空間は様々ですが、いろいろな居場所を作ることによって、ご本人の居心地の良い場所を見つけてもらうことが出来ます。

和室の仕切りがあるため、大きいフロアから小さいフロアにできます。昼15名→夜1名もあるため、少人数になった時の寂しさや不安を軽減することができます。



●日向ぼっこ

南向きで陽当たりが良く、外の空気を吸いたいと思える時には、自由に出入りすることができます。



●ダイニングテーブル

天板の裏にはスカートなどの突起物がないものを選びました。車イスの方もスムーズに席へ着くことができます。



●参加

アイランド型キッチンを採用しました。周囲からいろいろな形で、気軽に調理に参加できます。



●入浴

浴槽で足を伸ばした時に背と足が壁面に着くサイズです。ご利用者が入浴する時に左右どちらを背にしても介助が出来るように、浴槽を配置しています。ご夫婦、ご友人等と一緒に入れるように、洗い場を2カ所設けています。部屋との温度差がないように脱衣所は冷暖房、浴室は暖房を完備しています。



●動線

トイレで衣服が汚れてしまった時など、そのまま脱衣所→浴室へ行けるようにしています。



●セミパブリックスペース

「ひとりの空間」と「みんなと過ごす空間」の中間のスペースです。**（消極的参加の場）**「周りの皆とは少し距離を置きたいけど、一人で個室にいるのは寂しい。他の人の存在は感じていたい。」そういう関わり方を望まれる方もいらっしゃいます。ここは、僅かなスペースですが、「個人の思いを尊重するための、非常に重要な空間」と考えています。

